

映画「ハマのドン」自主上映のお礼

ドキュメンタリー映画「ハマのドン」の自主上映を、9月30日に、エル・おおさかの南ホール（定員216名）で、10:30（200人）、14:30（200人）、18:00（60人）の3回を、大阪シナリオ学校が主催して行いました。当初に350人を目標としていましたが、460人の参加者で成功させることが出来ました。実行委員会やご協力いただきました皆様には、大変お世話になり有難うございました。

本作品の基となったのはABCテレビで、昨年2月6日に放送された「ハマのドン」（松原文枝監督、50分）でした。国内はもとより海外でも表彰されるなど高い評価を受けました。この頃は2022年3月25日から5月25日まで行われた、「カジノの是非は府民が決める住民投票を求める会」が行った、住民投票条例署名運動の準備中の忙しい日々でした。住民投票署名は直接請求に必要な5万人近くも超える、192,773人も集まりました。しかし7月29日に開催された臨時府議会で即日否決されてしまいました。

「求める会」は「大阪の未来は府民が決める夢洲カジノを止める会」と改称しましたが、2023年4月27日の「止める会」の事務局会議で、事業停止・事務所の閉鎖・「止める会」の解散を発表しました。

「ハマのドン」は、現在上映中の「福田村事件」の森達也監督の励ましを受けて、映画「ハマのドン」（100分）として、2023年5月5日に一般公開されました。

6月24日にPLP会館で、新たに「夢洲カジノを止める大阪府民の会」が発足し、山川義保事務局長より、事業計画が発表され、上映中の「ハマのドン」の自主上映も検討するとの提案がなされました。参加していた私がこれを受けて、大阪シナリオ学校が主催して、自主上映することになったのです。作品そのものが優れていますが、日本のどこにもカジノはいらないという運動を、特に大阪府民を勇気付ける作品でもあります。2030年の夢洲にカジノを開業すれば、日本を大阪を亡ぼす暴挙に反対する、長い闘いを継続していきましょう。

2023年10月1日

浜田紀男（大阪シナリオ学校事務局長）